

# 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

## 住民説明会及び意見交換会

### 第3回 開催報告

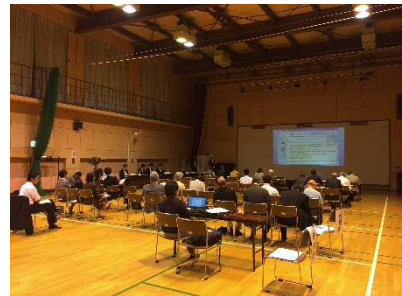
#### 議事概要

対象地域：屯田連合町内会のうち東15丁目・屯田通以北  
の地域

開催日時：平成30年10月4日（木）19：00～20：30

開催場所：屯田地区センター体育室（札幌市北区屯田5条6丁目3-21）

参加者数：市民25名（地域の方8名、地域以外の方17名）、報道関係者3名、  
札幌市（事務局）4名、北海道（オブザーバー）1名、  
道銀地域総合研究所（事務局）4名 計37名



#### 1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

#### 2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

#### 3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

#### 4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

##### 【利活用策について】

- ・ロンドンにあるロンドンシティ空港やリオのサントス空港を考えると、北海道にもシティ空港は必要であり期待している。
- ・近年、北海道も異常気象や災害が増え、新千歳空港に近い樽前山が噴火する可能性も踏まえ、新千歳空港の今後のあり方と、丘珠空港のシティ空港としてのあり方を検討してもらいたい。
- ・北海道は観光業が中心で、今後も国内外から多くの方が訪れるため、利便性を考えるとともに、自衛隊が管理している空港でもあるので、災害に強い空港として検討していただきたい。

**【空港周辺の環境について】**

- ・パンフレットによればプロペラ機からジェット機になり、数値では音が軽減されているとの事だが、騒音は以前より大きく感じる。
- ・便利になるのは良く、周辺の開発も進むと思うが、地域住民はやはり騒音を一番心配しているため、十分に配慮してほしい。

**【本説明会の運営について】**

- ・本日の対象地域が屯田3番通以北の町内会だが、地域を巻き込むという意味では、屯田連合町内会を二つに分けるのではなく、全町内会に働きかけていただきたかった。

○ご質問

**【利活用の検討の進め方について】**

- ・都市計画として、空港周辺の開発を含め全体的に考えているのか。そうすると屯田でも、軌道系の交通機関が関わってくる。
- (回答) まずは案として空港の利活用策を示したところであり、いずれどこかの段階では都市計画と絡めて検討する必要があると考えている。

**【利活用策について】**

- ・札幌から東京やアジアを結ぶ等の将来の夢は描かれているのか。そうであれば嬉しい。
- (回答) 東京に飛ばすには滑走路長に課題があり、市民議論等を行った上での検討が必要となるため、現在は考えていない。市としては、使われていない発着枠を使い、環境基準の範囲までは、便数を増やすことを考えている。

<地域以外の方より>

○ご意見

**【利活用策について】**

- ・ロンドンのシティー空港という意見が出ていたが、ロンドンはイギリスの首都で日本と言えば羽田になり、人口が全く異なるため、札幌とは比べられない。
- ・道内のJRや道路等のインフラが被災したとき、やはり空港が重要になってくるため災害に強い空港にすべきである。

**【整備に係る費用について】**

- ・道の経済や札幌市の税収に貢献できるような空港を目指すが税金の有効活用になる。

**【本説明会の運営について】**

- ・札幌市民の税金に関わる事なので、次に説明会では地域を限定せずに誰もが参加できるようにするべきだ。

## ○ご質問

### 【利活用の検討の進め方について】

・この報告書は、公募の委員でつくったものではないので無効である。この検討に関し、札幌市が随意で選んだ有識者に報酬は支払われたのか、またいくら支払われたのか。  
(回答) 昨年度までの検討会議は札幌市と北海道で行ったものであり、学識経験者の方々は委員ではなく、意見をいただいただけであり、報酬は支払っていない。

・丘珠空港は以前設置されていた北 24 条が市街化になったため、騒音等の問題もあり 65 年前に丘珠に移設した。丘珠周辺もかなり市街化されことや、15 年前、民間機が市街地に墜落し被害が出た際には、国は石狩当別地区に移転する計画を出したと聞いているが、それを考慮すれば移転するべきではないか。

(回答) 石狩への空港移転に関する正式な計画について、国が出したということは聞いていない。

※過去に北24条に設置されていた札幌飛行場は終戦とともに廃止されており、現在の丘珠空港の場所に移転されたという事実はありません。また、民間機の墜落について、運輸安全委員会の公表資料によると、15年前に発生した事実は無く、31年前の昭和62年に札幌市東区で墜落事故が発生した記録があります。

・民間委託の7空港に丘珠空港が入っておらず、そういう危機感から検討をしているが、賛成意見によって地元案を崩していく意図があるのか。

(回答) 住民の方との合意である地元案は現在でも重要であると認識している。民間委託も検討の理由の一つではあるが、航空機の低騒音化等、様々な要素を含めて、札幌市と北海道で検討しているものである。

### 【空港周辺の環境について】

・札幌市の騒音測定の際は、航空機はわざと騒音が出ないように飛行している。

(回答) 騒音測定は適正に行われていると考えており、恣意的に音を軽減しているとの認識はしていない。

・パンフレットの騒音の数値は本当に合っているのか。プロペラ機とジェット機では音の質が全く違い、ジェット機はテーブルが震えるぐらいの重低音である。なぜ測定値を載せずに、航空機メーカーの資料を載せるのか。

(回答) 航空メーカーに確認しており、実際に騒音調査を実施し、環境基準が守られていることから信用に値すると考えている。確かにプロペラ機とジェット機では数値では見えない音の質の違いはあるが、環境基準は守られているという点は理解してほしい。

**【整備に係る費用について】**

- ・180億円ほど掛けて現在の緩衝緑地帯を造ったが、滑走路を延伸すると、さらに多額の税金をかけて再整備していくのか。

(回答) 滑走路延伸を行うと決めたわけではなく、現時点で緩衝緑地帯の取り扱いは未定である。

**【本説明会の運営について】**

- ・滑走路延伸は札幌市の税金が使われるため、連合町内会単位で細かく分けるのではなく、札幌市の全ての町内会で説明会をすべきではないか。

(回答) 今回地域毎に分けているのは、過去の経緯や空港からの距離等によって、感じていることに地域の特性があると考えてのことである。地域以外の方への懇談会や、個人からの意見も受け付けている。

**【その他】**

- ・過去の住民合意ではジェット機は運航しないという内容だったはずだが、FDAに確認したところ札幌市からの要請を受け運航しているとの事だった。これは規定違反ではないのか。

(回答) 札幌市としては住民合意に基づき環境基準を超えない範囲でのジェット機の運航は可能であると考えており、その範囲内でFDAに要請している。

**5. 閉会**

以上